

# 政策分析シート（平成24年度）

政策名	活気ある地域コミュニティの形成	政策No	10	部名	区民生活部	部長名	高梨	内線	2500
関連部名	子育て支援部、総務企画部								
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[ ]							
目的	心豊かで活力に満ちた地域社会の形成を図るため、地域の活動拠点の整備を進めるとともに、地域コミュニティによる様々な活動を支援する。								
指標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明		
		21年度	22年度	23年度	24年度(見込)	目標値(28年度)			
	ふれあい館整備率	30.0%	35.0%	40.0%	55.0%	100.0%	整備箇所数 / 計画数 (20館)		
町会加入率	59.2%	62.0%	61.6%	64.0%	65.0%	加入世帯数 / 区内世帯数			
青少年育成事業参加者数	51,004	49,516	53,021	55,000	55,000	各地区の青少年育成事業(こどもまつり等)の参加者数			
現状と課題(指標分析)	<p>荒川区は町会加入率も高く都内でも優れた地域力を持ち、地域の防災や防犯の取組にも反映され、大きな力となっている。</p> <p>コミュニティ活性化の推進にあたっては、ふれあい館をより使いやすく、特色ある施設内容となるよう工夫するとともに、区民ニーズ等を適切に把握し、事業内容の一層の充実を図る必要がある。</p> <p>青少年健全育成運動については、参加者も多く、環境美化活動や地域見守り活動等多面的な展開をみせており有意義なものであるが、運動を担っている方々の固定化といった課題がある。</p>								
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>より一層、町会・自治会事業への積極的な支援を行い地域力の向上を図ることにより、町会加入率の向上に繋げる。</p> <p>平成20年4月に策定した「ふれあい館整備ニュープラン」に基づき、各地域において特色あるふれあい館づくりを推進するとともに、指定管理者への的確な指導・監督、地域や関係各課との連携強化により、ふれあい館事業の更なるレベルアップを図る。</p> <p>平成24年3月に策定した「平成24年度・25年度荒川区青少年健全育成基本方針」を各青少年育成地区委員会、町会、関係機関、団体と連携を取り実施していく。また、運動の担い手を各団体から募集し、特にPTA役員の参加者については子どもの卒業後についても、委員として留まれる仕組みを構築する。</p>								

政策を構成する施策の分類			
施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	24年度設定	25年度設定	
コミュニティ活性化の推進[10-01]	重点的に推進	重点的に推進	地域コミュニティの活性化のため、ひろば館に替わり活動の拠点となるふれあい館の早期の整備が求められている。また、区の行政推進のため、町会等の自主性・自立支援及び活性化が必要不可欠である。
青少年健全育成運動への支援[10-02]	推進	推進	地域の住民が主体となって取り組んでいる本施策は、地域に定着しており、活気ある地域コミュニティ形成に必要な不可欠である。防犯や環境美化等の面からも大きな役割を果たしており、引き続き支援していく。
人権・平和の普及啓発[10-03]	推進	推進	人権・平和・男女共同参画社会について広く区民に普及・啓発していく。